

図書館の便利な使い方

part3 本の探し方 OPACの使い方



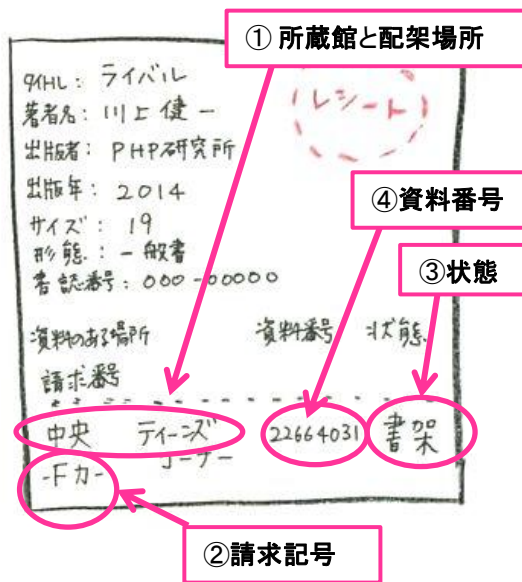
みなさんは図書館で読みたい本を探すとき、どうやって探していますか？ 方法はいくつかあります。 1・職員に聞く 2・part1でご紹介したNDC（分類）を使って書棚から探す などですが、今回はもうひとつ便利な方法、OPAC（検索機）の使い方をご紹介します。

図書館にあるOPACを開いてみましょう。

- ・**詳細検索**では本のタイトル、著者名、出版社などがわかっている場合に使います。
- ・**分類検索**では、読みたいジャンルから本を探すことができます
- ・**雑誌・新聞の一覧**も見ることができます



さて、目当ての本をOPACで探すことができれば、所蔵情報を確認しましょう！ OPACの画面、またはレシートを見て



- ①**所蔵館と配架場所** で市内のどの図書館の、どの書棚にあるかがわかります
- ②**請求記号** は本の背表紙にあるラベルの記号です。これでさらに細かい場所を特定できます
- ③**状態**でその本が借りられるか、貸出中かなどを確認します
- ④**資料番号**は本1冊1冊についた登録番号です。職員にたずねる場合はこの番号を見せてくださいね

市内にない本は他の図書館から取り寄せることもできます。職員に気軽に相談してくださいね！

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.18 2014.7

清瀬市立図書館

ライバル

川上 健一／著
PHP研究所



高校のゴルフ部員の葉奈と宇希恵は、幼馴染みみのゴルフ仲間です。全国クラスの宇希恵にライバル宣言された、ゴルフは「普通」のレベルの葉奈。ところが、あるときをきっかけに宇希恵はスランプに陥ってしまいます。葉奈は宇希恵のスランプを克服するために一緒に作戦を練ります。

一緒に悩み、考えてくれ、喜びもわかちあえる、よき「ライバル」の存在って素敵だと思いませんか。あまり馴染みのないゴルフというスポーツの世界にも引き込まれます。

<中央図書館 栗本>

よい言葉を使うと自分のまわりが幸せになって、良いことが自分にも返ってくる。そして、友達との関係もよくなるにちがいありません。

言葉は人間関係を作る上での基礎と考え、日本の古典からマザーグース、キング牧師の演説や円周率まで、現役の国語教師が選んだ名文の数々。この「ことだま百選」には、人生を豊かにする教養と共に、友達関係を大切にしようというメッセージが記されています。

本書は、生徒の十年後、二十年後の人生が豊かになるように願いを込めて、杉並区立天沼中学校により作られました。

<中央図書館 佐藤>

ことだま百選

東京都杉並区立天沼中学校／編
講談社



今では持っていることが当たり前になってしまったスマートフォン。いつでもインターネットが使える、連絡も簡単に取ることができ便利になった反面、SNSやアプリから始まるいじめ、ネット詐欺の手段としても使われています。

スマホを持つ年齢の低下により、さらに広がっていき被害にあう確率も高くなるスマホ社会に対して、「子どもとスマホの関係」について54の質問と回答が記されています。

これからスマホの購入を考えている方やその家族へ、お薦めの1冊です。

<駅前図書館 栗原>

12歳からの スマホのマナー入門

藤川 大祐／著
大空出版



校閲ガール

宮木 あや子／著
KADOKAWA



「校閲」とは、原稿・印刷物のあやまりを調べ直すこと。

本当はファッション雑誌の仕事がしたくて出版社に就職したのに、名前が「悦子」だからと配属されたのは校閲部！文芸書なんて！と思いつつも、渡された仕事を完璧に仕上げるために奮闘するお仕事小説です。

主人公の悦子は口が悪くて、上司だろうと先輩だろうと暴言をはきまくるし、態度もでかくて何様？って所もありますが、前を見据えて芯が通った行動に、応援したくなる気持ちがわいてきます。ぜひぜひお読みください。

<中央図書館 伊藤>